

MGD 治療 報告フォーマット

記入者氏名 天野史郎

治療法 食事療法、オメガ3脂肪酸

治療に必要な物

オメガ3脂肪酸を多く含む食品やサプリメント

これまでの報告の結果

食事療法による MGD の治療に関しては、いまだ科学的な検討の報告はほとんどない。これまで唯一、Macasai MS がオメガ3サプリメントの MGD への効果を検討した結果を報告している。オメガ3脂肪酸はオメガ6脂肪酸からのアラキドン酸経路を競合的に阻害する事で、炎症性の prostaglandinE2, thromboxaneA2, leukotrieneB4 などの産生を抑制し、眼瞼の炎症を低下させることが期待される。またオメガ3脂肪酸の投与によりマイボーム腺分泌脂の性状が変化しマイボーム腺の閉塞が起きづらくなることも期待される。Macasai MS の研究では、MGD 患者を、オメガ3脂肪酸を1日に3.3g内服する群(18人)とプラセボ(オリーブオイル)内服群(20人)との2群にわけ1年間にわたって検査を行った。1年の経過後、オメガ3内服群では血中のオメガ3脂肪酸が有意に上昇したが、プラセボ内服群では変化がなかった。オメガ3内服群、プラセボ内服群のいずれにおいても、tear breakup time の延長、meibum の質の改善が見られたが、2群間で有意な差はなかった。自覚症状スコアである Ocular surface disease index score は2群とも改善していたがオメガ3投与群でより大きな改善を示した。Meibum score が1.5以下の正常 meibum を持つ眼の割合は、オメガ3群で1年間に21%から71%に有意に増加したが、プレセボ群では投与前62.5%から投与1年後75%で変化がなかった。この報告では primary outcome measures である tear breakup time や meibum score の1年間での変化に、オメガ3投与群とプレセボ群の間で有意な差が見られず、オメガ3投与が MGD に有効であったとは言い難い。正常な meibum score を示す眼の割合ではオメガ3投与群のみで増加しており、オメガ3投与の効果があったと考えられる。以上のように Macasai の報告の結論としては、オメガ3脂肪酸投与が MGD の改善に役立つと断定できる内容ではなく、さらなる検討が待たれる。

治療の問題点、問題点への解決策

上記したように食事療法による MGD の治療に関しては、いまだ科学的な検討の報告はほとんどなく、今後の検討が待たれる。

文献

Macsai MS. The role of omega-3 dietary supplementation in blepharitis and meibomian gland dysfunction. *Trans Am Ophthalmol Soc* 2008;106:336-356.